

昇出—厚朴の葉を喰を活—て又—
むらり又日まより吹城の堂へ^後新新なる
事又日まより大浦^小月山を三の君と—
サング派といふ所にひて^甚新なる事又
日^次は漲あり二節は流れて一節は似たり
右ふ小山ニツたりまれり大の字の如—
その肩は言あり伏の字の如は似たり岩
は庵舎の厨子に大日の像を入れて古中は埋
木を覆ふて是を隠すと又縄切刀といふ有
推動た人といふに後つるを集て縄と—新

一 岩の山伏を岩屋へ移りて中途まで切落と
いふ後若人^新厚朴一人小本先達といふを
人^新厚朴^本を^新關^水の^麓の^先達一人^將の^先達
一人山中のち^新厚朴より出^ッ若新又日は海に
を退下する所の新事^新厚朴も事多れとも
無きれを^新サング派は月山^新濁派の下—
—て大浦—三里余吹城—六里有とそ出羽
守後^新厚朴の^新案^新因は出^ッとの吹城
の^新山^新伏の^新新^新なる^新と^新や^新を^新—
そ